

令和7年度北海道真狩高等学校学校評価

1 本年度の学校教育目標

- (1) 基礎的・基本的な知識・技能に加え、農業や食に関する専門性を養い、グローバルな視野を持って、地域産業を担うことのできる生徒を育成する。
- (2) これからの時代を生き抜くために必要な資質・能力を身に付け、自己の能力を最大限に伸ばさせて、主体的に逞しく生きることのできる生徒を育成する。
- (3) 豊かな心を養い、互いに磨きあい、他者と協力して、自らの人生と社会の未来を創造するために、力を尽くすことのできる生徒を育成する。

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学校経営	<ul style="list-style-type: none"> ・地域とのつながりを大事にしている。 ・メンター制度や校内研修の充実を図り、資質向上に努めることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・深い学びの充実が、子どもたちの底力を引き上げている。 ・先生たちが学び続けるからこそ、主体的に学びに向かえる子どもたちを育てることができている。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・専門性を活かした地域協働の推進を行う。 ・「新たな教師の学びの姿」の実現に向けて、校内・校外外研修に積極的に参加する。 	
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度より研修等を活かした授業への工夫と生徒の主体的な参加が多く見られた。 ・BYODを活用して、朝学習や寮での学習習慣の定着に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体験的な学びが生徒の自主性と意欲につながっていると思われる。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・朝学習の活用や寮や継続的な授業改善により学習習慣の定着と基礎学力の向上を図る。 ・評価方法についての校内研修と授業アンケートの情報共有を図る。 	
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ見逃しゼロとなるように、教職員全員で研修会等を行い対応することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・時代に沿った校則の見直しを行ってほしい。 ・生徒の特性に応じた対応をしてくれる。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・定期の共通理解会議での多様性や細かな情報の共有を徹底する。 ・挨拶等の基本的な生活習慣の徹底した指導を行う。 	
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリアパスポートを活用した進路実現の実績が増えた。進路のミスマッチを引き続きなくしていく必要がある。 ・進路の決定について、さらに保護者と情報を密にし、対応する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・充実した学校生活の中で自信を深められていることが、主体的な進路選択につながっている。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・進路ガイダンスやキャリアパスポート等の継続利用により進路に対する意識を高める。 ・保護者への早めの情報提供を継続することで、指導の理解促進に努める。 	
専門教育	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な実学教育と教育課程の編成により結果を残すことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き2コース制を最大限に生かした特色ある教育の推進を期待します。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT教育の推進とコース制をさらに活かした地域と連携した授業を展開していく。 	
寮教育	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒個々通信やクラスルームで家庭と情報の共有をおこなった。 ・規範意識を高め、集団生活の自覚をより一層高める必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・さらに自主性を促すシステムに努めてもらいたい。
改善方策	<ul style="list-style-type: none"> ・規則の確認や生徒同士の連絡や報告を徹底することで、基本的な生活習慣の確立に努める。 	
公表方法	学校ホームページ等で公表。	